

科目名	和楽器奏法		担当教員	杉山 加保里	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED3MIM108
期待される学修成果	教科教育 自己形成				
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	教諭、講師				
実務経験を生かした授業内容	学校現場の経験を生かし、集団学習における楽器習得の手法や評価について講義する。				
到達目標及びテーマ	篠笛、能管、三味線、箏、締太鼓の基本的な奏法を習得し、独奏曲、重奏曲を演奏することができる。また、日本伝統音楽独自の記譜法や奏法を、他の音楽文化における記譜法や奏法と比較し理解を深めると共に、演奏表現につなげることができる。学校現場での実践を見据え、研究意識を持って取り組むことができる。				
授業の概要	学校現場でも多く使用されているプラスチック製の篠笛と能管を用い、基本的な奏法を習得する。篠笛では簡単な独奏曲を演奏した後、二重奏に取り組む。三味線、箏の基本的な奏法を習得する。いずれの楽器も固有の奏法の習得から、豊かな演奏表現につなげることを研究し合う。				

授業計画	
第1回	和楽器の分類、特色 / 篠笛の基本的な奏法① 基本姿勢、息の吹き込み方、指の構え、運指と楽譜「たこたこあがれ」「ほたるこい」
第2回	箏の基本的な奏法① 準備、扱い方「練習曲」「福寿草」
第3回	篠笛の基本的な奏法② 「ひらいたひらいた」「子もりうた」
第4回	箏の基本的な奏法② 様々な奏法「吉野山」
第5回	表現につなげる篠笛の演奏① 「さくら」
第6回	締太鼓の基本的な奏法「五郎時致」ヨセの合方の手組を用いる
第7回	表現につなげる篠笛の演奏② 「月」
第8回	三味線の基本的な奏法① 準備、扱い方、楽譜の読み方と音の位置 「松の緑」前弾
第9回	篠笛二重奏 「こきりこ」「かごめ」「山ざくらの歌」 / 能管の演奏に向け「五郎時致」ヨセの合方の唱歌の実践
第10回	三味線の基本的な奏法② 「松の緑」前弾
第11回	能管の基本的な奏法 「五郎時致」ヨセの合方 唱歌から演奏へ / 締太鼓、三味線とのアンサンブル
第12回	実技試験に向けて① 二重奏のグループ練習 ・ 各楽器の個人練習
第13回	実技試験に向けて② 同上
第14回	実技試験に向けて③ 同上 / 篠笛ソロテスト
第15回	実技試験に向けて④ 同上 / 篠笛二重奏テスト / 三味線、箏 それぞれを録音 総括

事前学修	0.5時間	良い音を目指してのフォームの研究。自由課題の選曲。二重奏等合奏の練習。甲音やメリ・カリなど特殊な音に対する積極的な研究。
事後学修	0.5時間	授業内で取り組んだ篠笛の曲については、通して演奏しきれるまで各自練習を積むこと。
フィードバックの方法		・複数の楽器を習得することを目指すため、基礎の形が崩れぬよう机間巡視し、うまれた課題はその都度全員で理解を共有する。 ・授業内におけるプリント課題は個別にコメントし返却する。

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	選択楽器について、正しい奏法を身につけているか。
上記以外の試験・平常点評価	60%	篠笛テスト：正しい奏法と表現への意欲。課題シート：練習過程と疑問感想を具体的に記述できている

か。

補足事項

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
教材セット しのぶえ	山田隆・福原寛	日音	なし	なし

参考資料

「篠笛曲集1.2」「能管」(日音)  
「宮城道雄小曲集」「松の緑」(邦楽社)